

月刊
つばさ

1989
April
NO.274

TSUBASA

4

〔特集〕 空に関するあらゆる“?”に答える

航空界なぜなぜQ&A

●メカ編●オペレーション編●パーソナル編●その他

〔特集〕

The First Class

ザ・ファースト・クラス——美と食の極致

B747-400日本初登場!!

ノースウエスト航空
第1番機を徹底解剖



■好評ノパソコン・フライト・シリーズ——第4弾

セスナの計器飛行に挑戦 その2

■カラー・レポート

エアーニッポン 福岡—福江線B737フライト
JAC鹿児島—沖永良部線YS11定期便ルポ



ヘリコプターパイロット専門訓練学校

- FAA自家用操縦士コース 45日間
- FAA事業用操縦士コース 120日間
- FAA事業用+計器飛行 150日間

ヘリコプターパイロットを目指し、アメリカの空での操縦訓練を希望される方に、当校では責任指導を致します。入校訓練生には、当校所属の試験官パイロットが高度かつ確実な教育訓練を終了させ、誇り高いパイロットとして世界の空へ巣立たせております。

●FAA試験官常勤指導校です

FAA試験官常勤、実地試験に合格出来る訓練教育を、飛行5,000時間の首席教官が担当

●訓練はLAX ジョンウェイン空港

世界一ビジーエリアでの一流パイロット養成

●ATC英語特別訓練指導実施

米国の空を飛ぶ為の、管制塔とのATC交信を国際線を飛ぶ航空機の無線交信を実際に聞き交え、実戦指導をFAA飛行教官が担当

●日本航空グループJTS代理店



LAX ジョンウェイン空港

日航グループJTS代理店、運輸省登録済により航空留學生の現地滞在手配等、総てを国際業務に精通した資格者が、業法に基づき指導担当致します。

又、遠隔地からの訪問者には当校宿泊施設を無料で提供。

●英語特訓指導システム
英語に自信をもてない方には、現地で4週間の完全個人指導の英語特訓コースを用意しております。

ロイヤル航空開発ヘリストリーム航空学校

日本事務所 〒221 横浜市神奈川区大口通135番地の9 塚平ビル502 お問い合わせは ☎045(433)1481(代)
米国事務所 19300 IKE JONES RD., JHON WAYNE AIRPORT, ORANGE CO., CA92707 U.S.A.

世界に広げよう、航空ファン^{ペーシを二覧下さい}の輪

航空機絵ハガキ収集家
ダニエル・フロリーフさん

「まだ九〇パーセント以上は東ドイツにあるんですよ。」

とダニエルさん。ナント、この量で全体の割にも満たないとは!!

船橋市のお宅におじやまして、全部で六五〇〇枚という膨大なコレクションのほんの一部を見せて頂いた。パリグ・ブラジル航空のHS748や、エア・ペトナムのB727、日航のDC-4やDC-6などの顔も見える。お気に入りの珍しい絵葉書のことを説明して下さる時、ダ

ニエルさんの瞳はキラキラと輝やく。まるで自慢の息子を紹介する父親のように誇らしげな表情だ。

ダニエルさんが旅客機の絵葉書を集めるようになったのは一〇歳の頃。東ベルリンのシェーネフェルト空港の近くに住んでいたため、友達とよく遊びに出かけた。バルカン航空やエアフロートなど、空港駐在のエアラインの事務所を訪ねると、時々絵葉書がもらえたのだそう。近所には何千枚も持っているプロのコ

レクターがいて、その人が主催して毎年開かれる大規模な交歓会には、東独だけでなく、外国からも大勢のファンが集まった。そこでは、絵葉書を始め写真やスライド等が交換され、ダニエルさん達にとっては、外国のものを手に入れることができる絶好のチャンスだったらしい。ヨーロッパでは、写真より絵葉書の収集の方がポピュラーなようで、彼のコレクションも急速に膨らみ、外国の友達も沢山できた。

現在のダニエルさんは、西独のエアカーゴ会社、ユニオン・トランスポートの日本代理店に勤務するサラリーマン。日本語を流暢に話し、読み書きも自由自在というのも実は、母校のフンボルト大学で日本学科に在籍し、日本語はもちろん、主に日本経済を学んだというのだから当然といえば当然の話。卒業論文のテーマはなんと「日本の航空制度」。発達から始まって今後の展望まで、外国人の目から見た日本の航空制度が客観的に記されている。特に、日本の航空が国によって指導されて来たという性格上、政府と航空会社の間の特定の人脈に興味を持った。航空の発展の意味を、国家的立場からだけでなく、パーソナルなレベルからも考



察しなかったのだそう。なんともアカデミックな航空ファンではないか!!
奥さんの恵里子さんは、ご主人の趣味について、こんなふうなコメントを。

「彼は、自分のコレクションの一枚一枚、いつでも手に入れたかまでちゃんと記憶しているんですね。私にはどの絵葉書に価値があるかなんて全くわからないし、どれを見てもみんな同じに見えちゃうんですけど。(笑) こんな風に絵葉書を集めるのが楽しくて仕方ないようですが、それを通じて友達に会うのもまた格別の楽しみのようです。」

イギリスのオックスフォードの友人宅で、一晩に一万枚近いスライドを見たことがある。大の大人二人が突然子供に戻って興奮している姿がとても微笑ましく思えたという。

ダニエルさんにとってこの絵葉書、人生のバランスをとるためにもなくてはならない趣味のようだ。

▲(右)「翼」(一月号)のリーダーズスペースで友達を探したところ、こんなに沢山の手紙を頂きました。皆さん、どうもありがとうございます。▲船橋市の自宅。左は妻の恵里子さん。

